



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ 2010 推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

新方針を具体化し、参院選で介護問題を国民的な争点に押し上げ、制度の抜本改善を必ず実現させよう

土曜日の夜という条件にもかかわらず、すべての介護事業所から69名が参加！
介護事業に携わるメンバーによる「事例発表」と交流の場として「淀協福祉部集会」を開催



法人として初めて、介護事業に携わるメンバーによる「事例発表」と交流の場として、「淀協福祉部集会」が5月29日に開催されました。土曜日の夜という条件にもかかわらず、すべての介護事業所から69名が参加し、お互いのがんばりを共感しあえる場になりました。

集会は大野副理事長の挨拶で始まり、大阪民医連の山村事務次長から「2010年介護ウェーブ」のお話をいただきました。山村さんは、介護保険の10年を駆け足で振り返りながら、利用者・家族といっしょに使える制度にする運動を進めようと訴えられました。

つづいて、8つの事業所から「事例発表」が行なわれました。多くの事例に共通していたのが介護者も高齢化し、老老介護が増え、その中で夫婦とも認知症を発症し、こうした困難な中でも介護事業所が連携し、一部は地域とも一緒になって在宅生活を支える奮闘が語られました。参加者からも「それ



ぞれの現場で同じような苦労をしながら、同時にいろんな工夫をしていることが伝わってきて、共感できた」という感想が出されていました。

発表が長引き、交流会はだいぶ遅くから始まりましたが、ほとんどの方が残り、事例発表のなかった事業所の近況報告もされ、にぎやかに行なわれました。参加いただいた皆さん、本当に疲れ様でした。「もっと、こんな機会を作ってほしい」という声も寄せられていますので、実行委員会で総括し、今後について報告します。

「この人らは、ホンマにまじめな人らやで、署名の邪魔をしたらアカン」

6月半ばの国会会期末に間に合うようにと、介護改善署名はラストスパートに入っていますが、よどのは里は5月27日に野田阪神で8名が行動し、短時間で129筆集めました。この日の午後、よどのは里はご利用者さんの「お楽しみ会」という行事が催され、それにあわせて最大限の勤務を組んだので実現したものです。署名を集めていたところ、近くで窃盗事件が発生し「不審者を見かけなかったか」と警察官が聞きにきたのですが、それを見ていた若者が「警察が邪魔をしている」と思ったらしく飛んできて、「この人らは、ホンマにまじめな人らやで、署名の邪魔をしたらアカン」と力説してくれるというハプニングもあったそうです。（淀協 福祉部ニュース準備号 その49 2010.06.03より）

「介護職大好き人間」がつどった素晴らしい交流会でした！ 神奈川民医連主催「第2回介護職員交流会」が41名の参加で開催(5月21日)

神奈川民医連主催「第2回介護職員交流会」が、5月21日、県連会議室が満杯となる41名が参加して開催されました。交流会の成功にむけて準備委員会メンバーは事業所訪問をするなど工夫をこなし、メンバーの絆を深めながら準備を進めてきました。第1回目はチョット重い感じでしたが、今回は「仕事がつらくて涙を流す時もある、だけど涙の数だけ利用者さんの笑顔があり、支えてくれる仲間がいる。そんな介護職の素晴らしい社会に知らせたい。私たちは介護改善の先頭に立ち、介護ウェーブを大きくして行く気概に満ち溢れた、介護職大好き人間」がつどった素晴らしい交流会でした。グループ発表では、「介護職の地位が低い。ひとり一人が専門職として誇りを持って地位を高くしていきたい」「次回は利用者さんの苦しさをきく交流集会にしたい」「DVDで介護現場を訴えていきたい」「男だけの交流をしたい」「悩みを話せる交流会や情報交換をしたい」等の意見・感想が出されました。



介護のつどい実行委員会主催で、神奈川県高齢福祉課との懇談会を開催

5月21日に、神奈川県庁において県高齢福祉課との懇談を行いました。片倉委員長が準備した資料とともに、保険料減免制度拡充、保険料滞納者へのペナルティー措置、介護従事者処遇改善の状況、ヘルパー研修費用の助成などについて県と意見交換を行いました。同居世帯への家事援助中止について実態報告がされ、次の市町村担当課長会議で再度徹底したいとの回答を頂きました。処遇改善やスプリンクラーの設置助成については県として国に要望していくことを約束させ閉会しました。

(介護ウェーブ推進ニュース・神奈川 No.35 2010年5月24日より)

社会福祉法人ちどり福祉会 1,290筆で署名目標358%超過達成！(福岡)



特別養護老人ホームいきいき八田やデイサービスなどを展開するちどり福祉会(福岡市東区)が、介護改善署名を目標360筆を大きく上まわる1290筆を集めて目標達成をしました。今回の介護改善署名は、ちどり福祉会やNPO福岡地域福祉サービス協会など介護事業所の頑張りが目立っています。いきいき八田家族会の女性は「これまででもチラシ配りはしたことはあるけど、署名は初めてだった。介護をどうにかしないといけないという声を沢山聞き改善の必要性を実感した。もっと署名を集めたい」と語ってくれました。福岡や大牟田で取り組まれた宣伝は、5回の街頭署名に99人

が参加し860筆を集めています。マイクを通して、あるいは対話の中で「介護の現場で働く自分達の声を届ける場」になり、参加職員の確信となっています。まだ、実施していない事業所も、法人幹部を先頭に介護職員をはじめとした職員、共同組織の人達と一緒に街頭宣伝で対話をひろげる計画をしましょう。

(福岡民医連介護改善ニュース 第6号 2010年6月2日より)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp